

**JENESYS 2.0 及び北米地域との青少年交流**  
**在韓公館選抜事業 韓国大学生訪日団**  
**訪問日程 平成 25 年 3 月 28 日（火）～4 月 6 日（土）**

## 1. プログラム概要

JENESYS2.0 の一環として、在大韓民国大使館、在釜山総領事館、在済州総領事館で選抜、派遣された韓国大学生訪日研修団計 32 名が来日し、3 月 28 日から 4 月 6 日までの 9 泊 10 日の日程で研修を行いました（団長：宋浣範（ソン・ワンボム）高麗大学校教授、引率：金良宣（キム・ヤンソン）嶺南大学校教授）。一行は、「日本を感じる」という研修テーマの下、滞在中、長野市を訪問し、各種史跡の視察や地元の企業訪問、農家でのホームステイを経験するとともに、都内では日本人大学との Cool Japan 探しの他、文化体験や企業訪問を行い、日本の魅力を探しました。

## 2. 日程

**3 月 28 日（木）**

成田国際空港着

**3 月 29 日（金）**

オリエンテーション、観光庁職員によるブリーフィング、  
長野県長野市へ移動、長野市長表敬、長野市の魅力に関するブリーフ

**3 月 30 日（土）**

長野市松代町での大門踊り体験、真田邸と宝物館見学、善光寺見学、  
鬼無里でのホームステイ対面式

**3 月 31 日（日）**

ホストとの文化体験（おやき作り、おぶっこ作り、餅つき、鬼女紅葉太鼓体験）、  
ホームステイ

**4 月 1 日（月）**

マルコメ株式会社本社訪問、都内に移動、  
アパレル企業訪問

**4 月 2 日（火）**

和菓子作り体験、グリー株式会社訪問、東京タワー見学

**4 月 3 日（水）**

日本人大学生との交流会（Cool Japan 探し）

**4 月 4 日（木）**

日本人大学生との交流会（活動内容の発表、ディスカッション）

**4 月 5 日（金）**

着付け・茶道体験、  
外務省訪問（鈴木俊一副大臣表敬）、  
日本科学未来館見学、訪日研修報告会

**6 日（土）**

成田空港より出国

### 3. 写真

	
<p>(日本語) 3月29日 観光庁職員による講義(都内)</p>	<p>(日本語) 3月29日 観光庁職員による講義(都内)</p>
<p>(母国語) 3월 29일 관광청 직원의 강의(도내)</p>	<p>(母国語) 3월 29일 관광청 직원의 강의(도내)</p>
	
<p>(日本語) 3月29日 鷲澤正一長野市長表敬 (長野県長野市)</p>	<p>(日本語) 3月30日 文化体験 (大門踊り)(長野市松代町)</p>
<p>(母国語) 3월 29일 와시자와쇼이치 나가 노 시장 예방(나가노현 나가노시)</p>	<p>(母国語) 3월 30일 문화체험 (오오몬오도리)(나가노시 마쓰시로마치)</p>



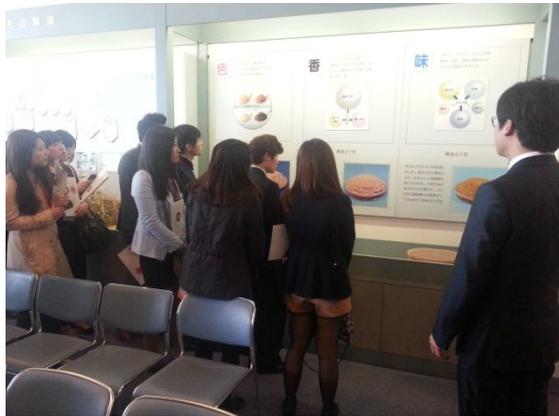
(日本語) 3月31日文化体験 (ホストと一緒に  
おやき作り) (長野市鬼無里)

(母国語) 3월 31일 문화체험 (호스트와  
함께 오야키 만들기)(나가노시 키나사)



(日本語) 4月2日文化体験  
(和菓子作り) (都内)

(母国語) 4월 2일 문화체험  
(와가시 만들기)(도내)



(日本語) 4月1日企業訪問  
(マルコメ株式会社) (長野市)

(母国語) 4월 1일 기업 방문  
(마루코메 주식회사)(나가노시)



(日本語) 4月2日企業訪問  
(GREE株式会社) (都内)

(母国語) 4월 2일 기업 방문  
(GREE 주식회사) (도내)



(日本語) 4月4日日本人大学生とのCool Japan 探し発表作業 (都内)

(母国語) 4월 4일 일본대학생과의 Cool Japan 찾기 발표작업 (도내)



(日本語) 4月4日 Cool Japan の発表 (都内)

(母国語) 4월 4일 Cool Japan 발표 (도내)



(日本語) 4月4日日本人大学生とのディスカッション (都内)

(母国語) 4월 4일 일본대학생과의 토론회 (도내)

(日本語)

(母国語)



(日本語) 4月5日外務省表敬(都内)

(母国語) 4월 5일 외무성 예방(도내)



(日本語) 4月5日外務省表敬(都内)

(母国語) 4월 5일 외무성 예방(도내)

#### 4. 参加者の感想

(参加者の感想をまとめたものを記載)

##### ◆印象的だったこと

##### ○ホームステイに関して

- ・ 田舎生活が体験でき、東京見学のときとは違った見方で日本が見られるようになった。
- ・ 家族同様に接してくれたのに感動した。
- ・ 質素ながら家具を手作りしたり手芸したりして幸せに暮らしている様子が印象的。
- ・ 外国人とのくらしを楽しんでくれ、日本語が下手でも優しく大目に見てくれた。
- ・ 個人旅行では経験するのが難しい日本人の文化生活などを感じられたのでいい経験になった。日本の生きた生活をより深く感じられた。
- ・ ホームステイで親切、温かくしていただいて日本のイメージが、研修後によくなった。(日本人は小食と聞いていたが、本当にお腹がはち切れるほどすすめられ、嬉しかった。)
- ・ ホームステイ前は年齢も離れているし、世代的に韓国に反感を持っていたらどうしようと心配したが杞憂だった。最後は涙が流れたほど情が移った。
- ・ 国籍だけでなく世代まで違う方と接する機会はとても貴重だった。田舎だったのもよかった。
- ・ 優しい気遣いに情が移り、別れるときには涙した。
- ・ ホームステイを体験して、韓国の祖父母にもよくしてあげようという気になった。
- ・ もっと長くホストファミリーと過ごしたいと思った。
- ・ ホームステイでは日本の伝統そのものを学べた。

##### ○日本大学生との交流に関して

- ・ 日本の大学生との交流を通じ、日本の友人ができたことは大きな収穫。一緒に街を歩いて日本らしいモノ (COOL JAPAN) を探すプロジェクトはとてもためになったし、日本人特有の気遣いを肌で感じられた。
- ・ ディスカッションでは国家という枠を離れ、個人的意見がたくさん聞けてとても有意義だった。
- ・ 日本の魅力、韓国との文化の差を知ることができ、その結果を皆の前で発表できたのが貴重な体験だった。
- ・ 自分は今就職活動真っ只中なので、学生との交流で就職の話をしたのが一番印象的だった。
- ・ 悪天候の中にもかかわらず交流はとても楽しく、結果、今回の研修を通して一番強く感じたことは「縁を大切に」ということ。離れてもその気になればすぐ会える今後もいい関係を保ちたい。
- ・ COOL JAPAN 探しでは、日韓の学生が協力して作業できてよかった。
- ・ 「国家同士の関係は別とし、我々が人間同士アジアのために一緒に協力していかなくてはならない仲間だということ覚えておきさえすれば、どんな問題も些細なことだ」というある日本の学生の言葉に感銘を受けた。国家間の問題をどうしていくか、整理がついた気がした。

##### ○伝統、文化に関して

- ・ 体験が難しい伝統文化を肌で感じられたのがよかった (大門踊り、鬼女紅葉太鼓、和菓子づくり体験、着物、茶道)
- ・ 韓国も日本のように伝統衣装の韓服を頻繁に着るように、そして祭りもたくさんあればいいのと思った。韓国は特産品を売るという目的のためだけの祭りが多いが、日本は集落の全員が

協力して伝統の踊りを準備したり共同体の特性を強調しては大きな効果をあげている。

- ・長野市訪問で思ったのは、日本という国は各地域がそれぞれ特徴を持っておりそれを生かしているという点。地方の文化財を重視し、大切にしている点は韓国が見習わなくてはならない点。
- ・有名な観光地において伝統の保存が徹底しているだけでなく、その観光地をうまく利用していると思った。
- ・COOL JAPAN 探しの際に、他国から入ってきた文化を自らのものとして吸収する日本の力を知った。
- ・旅館への宿泊は貴重な体験だった。なぜ人々が高いお金を出してわざわざ旅館に泊まるのか分かった。全てが揃っている利便性、温泉に入った後、体が本当にすっきりと軽くなった。
- ・料理がどれも美味しかった。日本の料理は、次も食べたくなる物ばかりだ。一行 30 人余りの全員を満足させる料理の提供はなかなか難しいだろうに、それができている。誰も不満を言っていなかったことに感動した。

#### ○人間性について

- ・日本についてよく言われる「建て前」について、先入観だったと知った。人同士、真心で通じ合えば国家間の問題も限りなく小さくなる。
- ・中 3 から日本語をやっているが、その後日本人の性格などを知って関心を失っていた矢先にこの研修を受けることになり、関心を取り戻した。
- ・全行程を通して感じたのは日本人の親切。特にレストランなど店のホスピタリティは驚くほどでただ一人も、ぶっきらぼうな日本人店員を見なかった。日本のサービス業の素晴らしさ、それに比べて韓国のサービス業の徹底しなさを感じた。
- ・ホテルのエレベーターで知らない人がボタンを押してくれたことに感動した。
- ・国民性が素晴らしく、意識が高い(特に感銘を受けたのは道がきれいなこと。ごみ箱は少ないのに決して道に捨てない)。
- ・エチケットがきちんとしている(歩行中にぶつからないよう気を付けるし、ぶつかったら謝る)。
- ・日本の本当の魅力は人間だったと感じた。

#### ○その他

- ・10 日という短い時間の中で、十分に日本を感じられた。
- ・企業訪問は、現在就職活動をしている自分にとって大きな助けになった。
- ・世界で認められている日本の企業を訪問できてそのパワーを肌で感じられてよかった。日本の企業に就職したくなった。
- ・外務省の訪問は、自分は韓国の代表だ、「これは外交だ」という襟を正す気持ちになり、身が引き締まってよい経験になった。
- ・就職活動時期であるので企業訪問は有意義だった。特にアパレル企業のサービス精神とそれを具現化するマニュアルが印象的。顧客の立場に立って顧客のことを思う、日本のサービス精神を感じた。一国を引っ張っている企業を訪問し、その企業の方向性を学べてとてもいい経験だった。その国を代表する企業を訪ねるのは国を知るのにとってもいい方法だと思ったので今後も続けてほしいプログラムである。
- ・最初は「研修」という気負いもなしになんとなく 9 泊 10 日日本に遊びに行く気分だったが、実際に行ってみて、どんなにお金や時間を積んでも経験できない貴重な体験をしたと感じた。
- ・本当の日本は日本人と接することで感じられた

◆自国の人に伝えたいこと

- ・日本人たちの食文化・風呂文化・礼儀などを知り、韓国に帰ってからは日本人の親切なサービス精神を伝えたいと思う。
- ・帰国後は日本で経験したこと、自分が持っていた偏見がなくなったことについて友人に伝えたい。そして今後ももっと日本について勉強したい
- ・韓国に帰って JENESYS2.0 というよい交流プログラムがあるということを友人たちに知らせたい。SNS を通じて写真をのせて発信したい。特に日本にあまり関心のない友人にも知らせ、日本の魅力をわかってもらえるように「COOL JAPAN」を伝えたいです。
- ・出会った人たちについて韓国に帰って話したい。(特に親切で温かかったホームステイ先のホスト、同じグループで活動した日本人大学生たち)
- ・帰国して授業発表があるのですが、そこで祭りについての発表をしようと思っており、長野の踊りの映像資料を見せようと思っている。
- ・高い民意を韓国でも伝えたい。
- ・就職活動とぶつかったが、思い切って研修を優先してよかったということを伝えたい。
- ・ホームステイと企業訪問が心に残ったと伝えたい。
- ・ホームステイの経験がない学科の友達に強く進めたい。
- ・帰国後大学で、とても価値のある経験ができる研修だから、ぜひ参加するようにと、後輩にすすめるつもり。
- ・より多くの人が日本の魅力をわかってくれたらいいのにと思うに至ったので、その気持ちを伝えたい。